

深海用プロファイリングフロート Deep NINJA について

株式会社鶴見精機は独立行政法人海洋研究開発機構との共同開発により、深海用プロファイリングフロート「Deep NINJA」(図1)を完成させました。現在、独立行政法人海洋研究開発機構が実施している南極海での長期観測(図2)で、4台が稼働中です。

Deep NINJA は、浮力を制御する事によって海中を沈降、浮上すると共に観測を行い、海面で通信を行う事が出来る、“プロファイリングフロート”と呼ばれる海洋観測装置です。最大で水深 4,000m の観測を行う事が出来ます。

Deep NINJA は、2007 年より要素技術の開発に着手し、2010 年には独立行政法人海洋研究開発機構の「実用化展開促進プログラム(戦略的連携タイプ)」に採択され、それまでの開発研究成果をもとに実機システムとしての開発が開始されました。

株式会社鶴見精機は、深海用プロファイリングフロート「Deep NINJA」(図1)の製品提供を 2013 年度より開始する予定です。



図1 Deep NINJA 外観

上部に水温・塩分および圧力センサと、測位・通信用のアンテナを装備。

下部の白いカバー内に浮力を制御する機構の一部を収納。

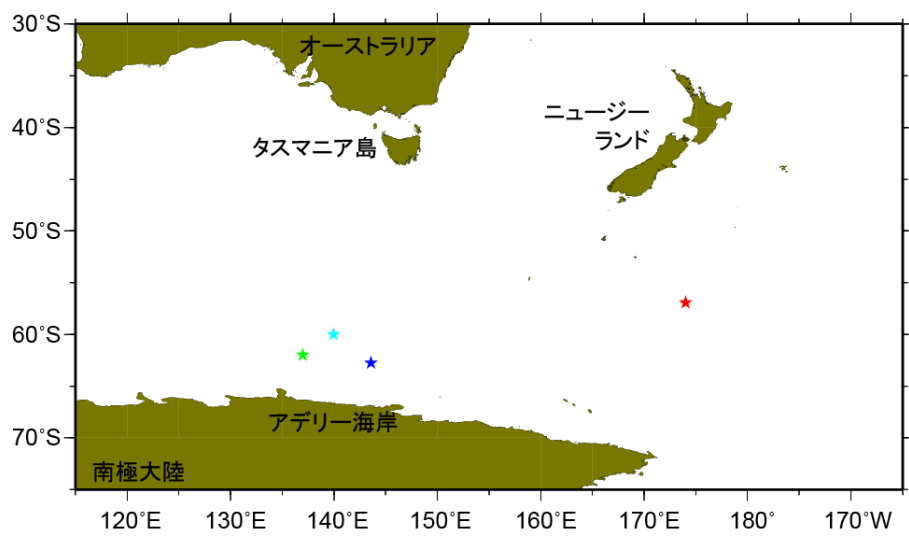


図2 南極海観測での Deep NINJA 投入位置 (★)

図提供：独立行政法人海洋研究開発機構

2013年4月15日
株式会社鶴見精機